

# 町議会が「生活展」に初参加しました



町議会が初めて出展した生活展のブース

## 「ご意見伺いますコーナー」を開設

富士見町議会は平成28年11月13日、町民センターで開かれた第34回富士見町生活展に初めて参加しました。町議会のブースに「ご意見伺いますコーナー」を開設し、議員が町民の皆さんの生の声に耳を傾けました。21件の意見や提案が寄せられました。

生活展への参加は、議会改革の一環として試みしました。議員の出身集落にとらわれず、町民の皆さんと交流する場になれば、と計画しました。議会改革検討委員会の中で提案され、今回初めて会場にブースを設けました。議員は1時間に2人ずつ当番を決めて、交代でブースにすわりました。

## 議会改革の試み——21件の意見、要望

町民の皆さんからは「文化財の保護に力を入れてほしい」「高齢者が活躍するためにも交通手段を充実してほしい」など、町政全般に対するさまざまな要望や意見をいただきました。

議会側では、町の担当者に、議会事務局を通じて報告したほか、返答が必要な要望、意見に対しては、全員協議会で諮った上で対応していきます。

(川合弘人)

## 議会傍聴感想

□自主防災会組織が制定されてから十数年が経ちますが、防災に対する町民の意識には進歩が感じられず、心配している一人です。過去の議会では、災害を想定した一歩踏み込んだ議論はされてきませんでした。12月定例会で、危機管理に関する議論が交わされたことは、今後の防災の在り方を考える上で一歩も二歩も前進するものと考えます。防災意識と危機感を高めるためには、町民の生活に密着した問題を含めて議会で取り上げ、白熱した議論を展開することが大事です。町政への町民の関心も高まると思います。 富士見 平出 功 (78)

□いつも議会日より新聞で議案や一般質問の報告を読んでいます。傍聴すると自分が質問者になったように真剣になります。議員の方々は沢山の資料を集め調査し、質問されています。私たち町民も一緒になって住み良い町づくりを考えていきたいと思いました。「議会の見える化」「開かれた議会を推進する」ために、今後も各種団体との話し合いや町議会オープンミーティングを開き、住民の皆さんと意見交換する機会の継続を望みます。 立沢 矢沢 里子 (69)

## 【編集後記】

昨年は、自然現象の急激な変化で、1時間に100ミリ超えの大雨や竜巻が身近に起き、大地震による被害は各地で長期化、東北や北海道に上陸した台風は被害を増幅させました。今年国が目指す「まち、ひと、しごと」の方針を地方から発揮し、地域住民が支えあう循環型の暮らしを基盤に富士見町を元気にしたいものです。そして住民と歩む議会を目指します。

(議会広報編集委員 小林市子)

<富士見町議会へご意見をお寄せください>

【No.147】平成29年2月1日発行 発行：富士見町議会 / 編集：議会広報編集委員会  
委員長：川合弘人 / 副委員長：矢島 尚 / 委員：五味高幸 小林市子  
〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合 10777  
TEL：0266-62-9403 FAX：0266-62-9320 E-mail：gikai@town.fujimi.lg.jp